

医学研究科博士課程

1. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

「研究を通じて誠の人間に至る」という本学の理念に則り、所定の教育課程を修了し、以下の教育目標に達して、学位論文審査に合格した学生に“博士（医学）”の学位を授与します。

- (1) **医学的知識**：革新的な医療を立案・遂行するために必要な、基礎、臨床（応用）さらには学際的な分野にいたるまでの、幅広い知識を身につけていること
- (2) **情報収集力**：最新の生命科学ならびに医学研究の動向について、継続的に情報収集と解析を続ける能力を有すること
- (3) **課題解決力**：医療や生命科学研究の分野で、新たな課題を現実の問題から見だし、課題解決に向けて自ら研究を計画・立案し、遂行できること
- (4) **情報発信力**：自らの思考、判断の過程や結果を論理的に説明し、的確に記述する能力があること
- (5) **コミュニケーション力**：自らが見出した新知見を国際的に紹介し、討議するコミュニケーション能力を有すること
- (6) **医療・医学への貢献**：医師として、その診断や治療能力を活かして地域医療の向上に参画する能力を有すること、あるいは研究者として、その科学的技能を活かして生命科学の進歩に貢献する能力を有すること
- (7) **医療・医学研究倫理**：高い倫理性を持って、高度医療や医学研究を遂行できること
- (8) **人材育成力**：次世代の人材を育成できること

以上の教育成果を達成することができるよう博士課程のカリキュラムが構成されています。定められた期間内に所定の講義と実習を受けて（学則第6条と第8条）、最先端の生命科学や医学知識を学び、卓越した医療技術を修得することが求められます。主体的に研究者として自立していることを証明するため、研究活動で得られた科学的知見を学術論文として、査読制度のある学術雑誌に掲載し、公表（あるいは掲載予定として受理）しなければなりません。国際的に評価される質の高い研究を企画し遂行するためには、しっかりした実験計画の立案と遂行途中での適切な見直しが必要となります。そこで、研究開始時と遂行途中初期審査、中間審査を受け、大学院修了時の最終審査の合格を経なければなりません。これらの条件を満足することが学位授与の要件となっています。

2. 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

医学研究科博士課程では、基礎科目と臨床科目、実習および演習を通じて教育の機会を提供するとともに、より緻密な教育・研究指導を行うため、入学時には研究指導チームを定めます。

- (1) 基礎、臨床、学際的な分野の幅広い知識を身につけるため、「専門医学領域」、「融合医学領域」を設けるとともに、「共通教育科目」を必修としています。
- (2) 医学研究の継続的な情報収集・解析能力を身につけるため、情報収集・分析力を養成する科目を共通教育科目に設定しています。
- (3) 新たな課題を見出し、自ら研究を計画・遂行できるようになるため、履修プロセス管理システムを整備し、初期審査及び中間審査を通して、研究計画書・進捗状況の評価とフィードバックを行っています。
- (4) 論理的説明能力を身につけるため、最終試験では公開の場で発表とディスカッションを実施し、客観的に評価しています。また、的確な記述能力を身につけるため、査読制度のある雑誌への論文発表を行います。
- (5) 国際的なコミュニケーション能力を身につけるため、国際学会での発表や国際誌への投稿能力を養成する科目を共通教育科目に設定しています。
- (6) 生命科学への貢献能力を身につけるため、「融合医学領域」を設けています。
- (7) 高い倫理性を持って、高度医療や医学研究を遂行するため、研究倫理を共通教育科目に設定しています。
- (8) 履修プロセス管理を通じて行われる研究指導体制を経験することで、次世代の育成に貢献する指導者としてモチベーションを養います。

あらかじめ定められた期間内に全課程を修了が困難となった場合に備えて、長期履修制度を整備します。一方、所定の期間に達する前に優れた研究成果を公表した場合は、早期に履修の終了が可能です。また、遠隔地からの受講を可能にするため、遠隔授業システムを導入します。支援の一環として、奨学金制度を設けます。

3. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学大学院学則では「医学、歯学及び薬学に関する学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的及び使命とする」と謳っています。医学研究科では、これを踏まえ、高い研究能力と地域医療の実践能力を有する人材の育成を目指しています。医学研究科博士課程では、国際的な視野に立って先進的な研究活動に従事する者、あるいは、研究を推進しつつ医療現場で主導的役割を果たす医療人を育成します。六年制大学を卒業あるいは修士課程修了した方を対象とし、高度かつ広範な最先端の医学知識と医療技術・技能を修得しようとする人を求めています。

医学研究科入学試験には、一般選抜、社会人特別選抜および外国人留学生特別選抜があります。一般選抜では、外国語試験によって国際的な研究水準および研究成果の発信に必要な語学力を有することを確認します。さらに、修士課程では面接試験によって、最先端の医学や医療を担っていくための研究意欲を有するかどうかを確認します。博士課程では専門試験によって、先進的な研究に必要な専門領域の知識・技能の基礎的な力の有無と、研究継続能力と意思があるかどうかを判断します。社会人特別選抜では、上記に加えて、働きながら教育を受け、研究に従事する強い意志を有することを、小論文試験によって確認します。

外国人留学生特別選抜では、学力検査および書類審査によって、国際的な研究水準および研究成果の発信に必要な語学力を有することを確認し、さらに、修士課程では最先端の医学や医療を担っていくための研究意欲を有するかどうか、博士課程では先進的な研究に必要な専門領域の知識・技能の基礎的な力の有無と、研究継続能力と意思があるかどうかを判断します。

なお、入学者の受け入れにあたっては、民族、宗教、国籍、性別および性的指向などを問わず、多様な人材を募集します。

医学研究科から、日本へ、世界へ。新たな領域へ。